

森泰吉郎記念研究振興基金 研究成果報告書

## 新たな分子標的治療薬の検討

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 修士1年

先端生命科学 (B I)

北村奈穂

### 研究背景

現代社会において、メタボリックシンドロームに由来する生活習慣病は増加傾向にあり、これらを予防または改善することは健康に生きる上で避けては通れない課題となっている。本研究では、糖尿病などの生活習慣病や、がん、神経変性をはじめとする数々の疾患と、また細胞老化による疾病を予防・改善する物質として、A という天然物質に着目した。

### 本年度の研究成果

マウスに物質Aを与え、血漿中パラメーター測定とリアルタイムPCR法によるRNA定量解析を実施した。物質Aを投与したマウスでは、メタボリックシンドロームの改善作用が観察された。また各臓器においてのリアルタイムPCRによる遺伝子発現解析結果からも同様に、メタボリックシンドロームの改善作用を示す結果が確認できた。本研究の結果から、物質Aはメタボリックシンドロームを予防、改善し、生活習慣病をはじめとする様々な代謝疾患に有効である可能性が示唆された。

### 謝辞

論文投稿前のため、詳細なデータは割愛させていただきました。研究費は、実験の試薬代として使用させていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。